

稲門女性ネットワークによる現役女子学生のためのキャリア支援

第7回未来の自分を発見しよう

OGのパネルディスカッションが開催されました

2011年10月29日(土)、本学学生会館キャリアセンターセミナールームにおいて、稲門女性ネットワーク(略称TWN)・本学キャリアセンター共催、本学男女共同参画推進室協賛による表記行事が開催され、70名近い学生の参加がありました。

就職・生き甲斐・キャリアアップ、結婚・出産・子育て、仕事と家庭の両立等について、社会の第一線で活躍されているOGとのディスカッションを通して学び、「わたしの未来図」を描こう!という趣旨で、TWNのご厚意によるこのキャリア支援行事は、今年で7回目を数えます。

今回は、化粧品メーカー、総合商社、テレビ局、生命保険会社、メーカーと、現役でご活躍の5名のゲストスピーカーが、後輩のために忌憚なく語っていただきました。

第1部のパネルディスカッションでは、石井由紀TWN幹事長の進行で、会社や業種をどう決めたか?入社してみてこれは違ったと感じることは?転職を考えたことは?／どのように転職をしたか?ワークライフバランスについて企業の制度や実態はどうか?育休をとるとキャリアにどう影響するか?といった、キャリア形成や就職を考えるにあたって、まさに聞きたい内容について質問がくり出され、各パネラーから率直な発言がありました。

企業の育児支援制度については、育児休業取得率は高く、休職明けの職場復帰が可能であり、育児中の短時間労働制度が選択できるとその充実ぶりの一端が示され、他のパネラーからは、裁量労働制なので時間の組立てができ、子どもの保育園の送迎も行っている等、恵まれた職場環境についての現場の声を聴くことができ、熱心にメモをとる女子学生の姿が多くありました。

また、学生時代の過ごし方はどうだったか、やっておけばよかったと思うことは?という問いには、「自分の引き出しをたくさんつくる経験をしておくとよい」「職場で出会う多様な人を受け容れられる柔軟さをもてるように」「自分の言葉でロジカルに伝える/話す練習をしておいてほしい、年齢差のある親御さんと話すのもその一助である」「就活のためにインターンシップやボランティアをやるわけではなかろう、何かに熱中してそれを続けてほしい」「仕事は正解がなく自分で見つけていかねばならない、どう伝えていくかが大切であり、いろいろな人と会ってコミュニケーションしてほしい」「資格も大切だが資格ありきではない、プラス“人間力”が必要で、何のために資格をとるのかよく考えてほしい」といった、アドバイスが紡がれました。

第2部のフリーディスカッションは、各OGを学生が囲み、膝を交えて2セッションが行われ、出版社よりテレビ局を選択した理由は?なぜ今の仕事を辞めたいと考えたことがないのか?求められる人材・一緒に働きたい人材とは?といった、活発な質問が飛び交う1時間でした。



◇TWN 稲門女性ネットワークとは◇

1995年設立、早稲田大学で唯一、女性だけの稲門会です。

(1)現役女子学生への奨学金贈呈

※16年間で36名に延べ1千万円を
超える奨学金を贈呈されています。

(2)現役女子学生へのキャリア支援活動

(3)留学生支援活動

(4)早稲田大学出身女性の交流活動

以上の4本柱を活動の目的とし、現役女子学生にエールを送り続けています。